

年頭の御挨拶

辰巳会会長 鈴木治雄

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年、昭和天皇が崩御され、元号が平成に改まりました。昭和の時代は、第二次世界大戦における敗戦の混乱から四十年にして、日本は世界の経済大国と云われるまでの国力になり、まさに政治、経済において激動の昭和でありました。平成の時代は、東西関係の緊張が解かれ、世界平和が着実に進行するものと思われませんが、反面、経済大国日本は、経済戦争の火種をかかえ、世界における日本の役割が厳しく問われる時代になると思われ

て、様々な例会が盛大に開催されて参りましたが、これも偏に本部、支部の幹事諸君の熱意と会員皆様のご声援の賜ものであり衷心より感謝申し上げます。日本の経済史に刻まれた鈴木商店ゆかりの方々によって運営されている本会は貴重な存在であり、これからも会員皆様のご協力により会が末永く続きますことを念願いたします。

ます。辰巳会は昭和三十五年に発足以来、今年で満三十周年を迎えます。定例行事の全国大会、新年会をはじめとし

おわりに、会員皆様の益々のご健勝を祈念しまして年頭のご挨拶といたします。

坂本寿氏御逝去



東京支部幹事として、永年辰巳会の為に御協力賜りましたが、昨年八月十六日他界されました。

ここに日本発条株式会社の社葬に於いて哀悼の意を捧げられました弔辞を御紹介します。

に心から哀悼の意を表します。

坂本さん、貴方は明治三十五年三月、高知県高岡郡に生を受けられ、大正十一年三月、市立高知商業学校を卒業、同年四月、株式会社鈴木商店に入社され、その後、日亜製鋼株式会社を経て、昭和十四年二月、当社の前身である株式会社芳浦スプリング製作所に入社され、昭和十四年九月には初代社長となられた故楓英吉氏と故藤岡名誉会長のお三方で日本発条株式会社を設立されました。

そして、昭和三十四年には取締役社長にまた昭和四十五年からは取締役会長に就任され、昭和五十一年、会長を退かれた後も相談役名誉会長として、実に五十年にわたり故藤岡名誉会長と共に常に当社の最高首脳としてご活躍され、設立当時五十人足らずの小企業を、今日、世界屈指のばねメーカーに育て上げられました。

これは貴方が寝食を忘れ社業に邁進された尊い努力の賜物であり、鋭い先見性と決断力を持った卓越した経営手腕によるものを改めて敬意を表します。

謹んで、日本発条株式会社 故坂本壽相談役名誉会長の御霊

弔辞

きいて、その育成、強化を図られました貴方はまさに当社のみならず、グループ各社の生みの親であり、育ての親であります。

又、貴方は社業の隆盛に意を注がれる傍ら数々の団体の要職に就かれ、我が国産業界の発展に尽力を払われました。特に昭和四十年より昭和五十五年まで実に十五年の長きにわたり社団法人日本ばね工業会の会長を務められ、ばね工業の第一次構造改善事業を推進され我が国のばね工業の目ざましい成長と発展に多大の功績を残されました。又、昭和四十四年からは、神奈川県経済同友会代表幹事の職に就かれ、神奈川県経済発展に比類なき貢献を果されました。

更に神奈川県、横浜を中心とする道路建設事業を積極的に推進すべく数々の関連事業団体の要職も務められ、地域社会の発展にも絶え間ない努力を払われました功績は、産業界のみならず、広く社会の認めるところであります。

昭和四十二年三月の藍綬褒賞、昭和四十七年、秋の勲三等旭日中綬章の栄えある叙勲、昭和五十六年六月の紺綬褒賞、更に御逝去の後従四位に叙せられ、銀杯を賜われましたことは貴方が、企業ならびに産業界で果された功績を余すところなく示

すものであります。

又、昭和五十二年十一月に神奈川県文化賞、昭和五十六年十一月には横浜文化賞、さらに昭和五十九年十一月には産業教育振興の功績により文部大臣より表彰を受けられたことは、貴方の地域社会への貢献の大きさを物語るものであります。

このことは坂本家はもとより、当社はじめニッパツグループにとっても大きな誇りであり、何物にも変え難い名誉であります。

坂本さん、貴方は青雲の志を抱いて土佐を離れてから今日まで常に高い目標を掲げこれに立ち向う『挑戦』の人でありました。

又、貴方が座右の銘として母君から教えられた『世の中の役に立つ人間になれ』を生涯かけて、実行された人でもありません。そして誰よりも『ニッパツ』とそのグループを愛し、神奈川県をそして横浜を愛した人でもありません。

社業はもとより、要職の任を果たすため時のたつのも忘れ執務に没頭されるお姿や、国の内外を問わず東奔西走され、休むことなく活躍されるお姿に何度となく頭の下る思いがいたしま

した。

私共は貴方から永年にわたり、その優れた見識と豊富な経験による数々の御教えをいただきました。このご恩を深く感謝致しますと共にいつまでも当社とグループのため、業界のため、更に社会のため、これからも多くの御指導を仰ぎたかつたという思いでいっぱいあります。

私共は、今かけがえのない人を失いましたが、この悲しみを乗り越えて進まなければなりません。貴方よりお受けいたしました御薫陶を胸に社訓の『躍進の日発』『根性の日発』『みんなの日発』を守りながら全社一丸となって社業の一層の発展とニッパツグループの業容の拡大に努力し広く社会に貢献することをここにお願い申し上げます。

最後となりましたが、去る九月八日貴方が心待ちにしておられました当社の創立五十周年の記念日を迎え、各方面より多数の御来賓のご臨席を賜り記念式典を挙行致しました。当日貴方のお姿のないことに深い悲しみをぬぐいることができませんでしたが、全役員・全従業員が新しい半世紀に向かって新たな決意をもってスタートいたしましたことを申し添え、今一度貴

方に心より御礼を申し上げ謹んでご冥福をお祈り致し弔辞といたします。

平成元年九月二十八日

葬儀委員長

日本発条株式会社

取締役社長 濱田正平

